

土地改良事業 計画概要書

大仁第1期地区農道事業（県営農村地域防災減災事業（地域防災機能増進事業））

第1章 目的

本農道は、昭和47年に工事着工し平成元年から供用開始している。供用開始以来、国道及び県道と連携して沿線の農地への通作、山間集落と農業施設・市場間の農産物や諸資材の輸送に重要な路線となっている。また、雲南市地域防災計画及び奥出雲町地域防災計画において、指定避難所への避難路として位置づけられていることから、緊急時の避難路等として、防災上においても重要かつ基幹的な役割を担っている。

しかし近年、法面部に経年劣化によるクラック等が発生しており、法面が崩壊する危険性が予想される。仮に崩壊が発生した場合、農作物の輸送のみならず災害時の避難路等としても機能せず、農村生活及び住民生活へ多大な影響を及ぼす。

このため、農業経営、地域環境保全及び地域防災機能保全を図る目的から、崩壊の危険が顕著な法面の整備を早急に実施する必要がある。

第2章 地域の所在及び現況

【地域の所在】

雲南市大東町・奥出雲町地内

【現況】

・受益地の用途別面積表

単位：ha

	水田	畑	樹園地	小計	道水路	非農用地	その他	合計
現況	430	—	—	430	—	—	—	430

・地形

本地区は雲南市と奥出雲町に至る山間地域に位置し、周辺は標高200m～400m程度の山地・丘陵地に囲まれている。

・気象

気候は日本海側気候の典型的特性を示し、特に冬期、梅雨期及び台風期は降水量が多く、曇天が多く快晴が少ない。年間の平均気温は、雲南市で14℃前後、奥出雲町で12.6℃、年間の平均降水量は雲南市で1,700～1,900mm、奥出雲町で1,828mmである。

・地域環境の概況

本地域は水田地帯で、受益地周辺には小学校や交流センター、国道等が存在する地域である。

第3章 基本計画

（1）事業量

工種	事業量
法面対策	7箇所

(2) 環境との調和への配慮

工事の実施にあたっては、可能な限り環境に影響を及ぼさないよう環境の保持に努める。また、希少な動植物が確認された場合には、必要に応じて捕獲し、工事範囲外に移すなど最大限生態系に配慮する。

第4章 管理の要領

ア) 施設名：道路

イ) 数量：L=27.9km

ウ) 管理者名：雲南市、奥出雲町

第5章 換地計画の要領

該当なし

第6章 費用の概算

事業費 区 分	事業費 (千円)
本工事費	972,400
事務費	48,620
合計	1,021,020

第7章 事業の効果

項 目		効果額等
効果(便益)額	維持管理節減効果	△666 千円
	営農に係る走行費節減効果	27,889 千円
	一般交通等経費節減効果	140,254 千円
	合計	167,477 千円
総費用総便益比		3.21
増加所得償還率		— %
総費用 (現在価値化)		1,105,372 千円
	関連事業費	293,279 千円

第8章 他事業との関係

農村地域防災減災事業（農村防災施設整備事業） 大仁地区の関連事業

第9章 計画概要図

別添のとおり

農村地域防災減災事業（地域防災機能増進事業）大仁第1期地区

計画概要図

A0用紙: 1/25,000

A3用紙: 1/71,000

A4用紙: 1/100,000

山王寺堆肥施設

主要地方道
松江本牧線

主要地方道
大宮東田雲線

集落道路

集落道路

カントリーエレベーター

育苗施設

資材倉庫

(注) 国道第1号山

大宮東田雲線

大宮東田雲線

計画延長 L=27.9km

法面対策 N=7箇所

14.8km
雲南市

13.1km
奥出雲町

資材倉庫

堆肥施設

カントリーエレベーター

育苗施設

(注) 国道第1号山

奥出雲町

奥出雲町